

第4節 調査研究事業

美術館活動の充実を図るとともに、美術情報センターとしての機能充実のため、作家や作品をはじめ、保存、展示、教育普及等の調査研究および情報の収集を行った。

1 調査研究事項

①作家 ②作品 ③技法 ④美術史 ⑤保存 ⑥教育普及
⑦展覧会 ⑧運営 ⑨県内外の展示施設 ⑩美術館利用者の動向他

2 重点調査研究事項

- ① 勝田蕉琴調査、県出身ゆかりの若手作家調査
② 速水御舟「女二題」材質調査

第5節 普及事業

美術の表現と鑑賞のよこびを深めるために、さまざまな事業を行った。

1 講演会の開催

期 日	演 題 / 講 師	聴講者数
4 / 29 (日)	「ピカソの謎」 飯田善國 (彫刻家)	300名
6 / 28 (日)	「勝田蕉琴と日本画壇」 田中日佐夫 (秋田県立近代美術館長)	100名
7 / 25 (日)	「自作を語る」 チェッコ・ボナノッテ、デ・ミ トリオ (出品作家)	60名
10 / 11 (日)	「岡鹿之助の芸術」 島田康寛 (京都国立近代美術 館学芸課長)	80名
3 / 14 (日)	「中国陶磁と日本」 長谷部満彦 (当館館長)	250名

合計：790名

2 映画会の開催

講堂において、午前・午後の2回上映

期 日	上 映 映 画	入 場 者 数
5月17日(日)	ピカソ：天才の遺産	400名
6月21日(日)	エノケンのちゃっさり金太	45名
7月19日(日)	ニッポン無責任時代	60名
8月16日(日)	無防備都市	80名
9月20日(日)	若者のすべて	100名
10月21日(日)	忍ぶ川	120名
11月15日(日)	黒部の太陽	80名
1月17日(日)	リトアニアへの旅の追憶	80名
3月21日(日)	さらば、わが愛／霸王別姫	150名

合計：1,115名

3 実技講座の開催

	講 座 名	期 日	講 師	受講者
実 技 講 座	シルクスクリーン 版画	5 / 17～ 6 / 14	菅 野 朝 宏 (福島成蹊女子 高等学校教諭)	15名
	日本画の技法	7 / 4～ 7 / 19	北 田 克 己 (東京芸術大学 日本画科講師)	15名
	石膏でつくる立体 表現	9 / 5～ 9 / 20	大 石 尚 (郡山女子大学短 期大学部助教授)	10名
技 法 講 座	卵黄で描くイタリ ア・テンペラの技法	2 / 14～ 3 / 7	石 原 靖 夫 (画 家)	15名
	宝飾鑄金の世界	8 / 22・ 23	中 島 エリ 亨 (ジュエリー デザイナー)	15名
	手作り絵の具の楽 しみ方	11 / 7・ 8	樋 本 誠 一 郎 (ホルベイン工業 研究室長)	15名
親 子 美 術 教 室	暮らしに生かす和 紙の魅力	1 / 30・ 31	坂 本 直 昭 (紙舗直店主)	15名
	ピエロのノームと牛 乳パックでつくろう	5 / 5	芳 賀 哲 (日本おもちゃ会議会員)	8組 22名
	お菓子なアート	11 / 1	謝 琳 (アーティスト)	10組 22名
わ ん ぱ く ミ ュ ジ ア ム	紙でつくる、とび だすかたち	11 / 29	石 尾 利 郎 (桑沢デザイン研 究所助教授)	5組 15名
	かたどりレリーフ をつくろう!	6 / 27	真 柴 毅 (当館学芸員)	15名
	すすめ! パック船	8 / 1	真 柴 毅 (当館学芸員)	15名
美 術 ア ー ト ク ラ ブ	メタルオブジェを つくろう!	3 / 21	真 柴 毅 (当館学芸員)	8名
	合板でつくる立体	10 / 4	久 慈 伸 一 (当館学芸員)	1名
	リトグラフ(平版 画)を作ろう!	12 / 20	久 慈 伸 一 (当館学芸員)	5名

受講者合計：203名

4 美術鑑賞講講座の開催

	講 座 名	期 日	担当学芸員	聴講者数
①	日本美術館探訪シリーズ ロダンと日本・1	10 / 10	早川 博明	2名
②	日本美術館探訪シリーズ 中国絵画-宋元の美術を中心に-	10 / 24	堀 宜雄	7名
③	日本美術館探訪シリーズ ロダンと日本・2	10 / 31	早川 博明	4名
④	日本美術館探訪シリーズ 近代日本画-山極美術館、足立美術館他	11 / 7	佐治ゆかり	10名
⑤	日本美術館探訪シリーズ 19世紀ヨーロッパの絵画-国立西洋 美術館、ブリヂストン美術館ほか	11 / 21	荒木 康子	10名
⑥	黒澤明の表現-「羅生門」 を中心に	1 / 16	宮武 弘	7名
⑦	共同制作の可能性-コラボレー ション・アート	1 / 30	真柴 毅	6名
⑧	20世紀美術対決四番勝負	2 / 13	伊藤 匡	5名
⑨	肖像画の魅力-フラン・ハ ルスを中心に	2 / 27	久慈 伸一	12名

合計：63名